

全建発第8－130号
令和8年8月27日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 前川 秀和
(公 印 省 略)

**令和8年度 実地研修会（八潮市道路陥没事故・首都圏外郭放水路）（第2回）
の開催について**

謹啓 本協会事業について、平素よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

本協会では、標記実地研修会を別紙のとおり開催いたします。

本実地研修会では、世界最大級の地下放水路である首都圏外郭放水路の機能と役割及び先進的なインフラツーリズムの取組事例と、埼玉県八潮市において発生した下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故の復旧状況と今後の対応について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸・黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

全建発第 8－131 号
令和 8 年 8 月 27 日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 前川 秀和
(公 印 省 略)

令和 8 年度 実地研修会（八潮市道路陥没事故・首都圏外郭放水路）（第 2 回） の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は、国土交通省・農林水産省をはじめ、都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約 5.5 万名で構成されています。

建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上、連携・交流の促進を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び、良質な社会資本の整備・保全を通じて、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会では、建設技術講習会（年 10 開催）と実地研修会（年 5 コース）を実施しており、建設技術講習会では、道路、河川等各部門の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからのインフラの維持管理・更新等、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げております。また、実地研修会では、明石海峡大橋、東日本大震災の復興と現状など、一般に視察が困難な現場等を少数で視察することとしています。

本協会が実施するこれらの講習会・研修会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

本実地研修会では、世界最大級の地下放水路である首都圏外郭放水路の機能と役割及び先進的なインフラツーリズムの取組事例と、埼玉県八潮市において発生した下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故の復旧状況と今後の対応について学ぶことを目的としています。

つきましては、本実地研修会を研修の場として活用されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX 03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com

令和8年度 実地研修会 八潮市道路陥没事故・首都圏外郭放水路（第2回） 概要

(1日目) 開場14:20		令和8年10月8日(木)【聴講】		(敬称略)
14:50 }	中川・綾瀬川流域における治水対策と 首都圏外郭放水路について	国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所長	武 藤 健 治	
15:30				
15:40 }	埼玉県八潮市道路陥没事故の概要と 今後の課題について	埼玉県	(調整中)	
16:30				
17:30 }	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円>			
19:00	さいたま共済会館(予定)			
(2日目)		10月9日(金)【現場研修】		
(第1班) 集合(乗車) 8:10～				
さいたま新都心バスターミナル(8:30) 出発				
→ 八潮市道路陥没事故復旧工事 → 昼食(越谷市内) → 首都圏外郭放水路				
→ JR大宮駅周辺(16:10) 着後解散				
(第2班) 集合(乗車) 9:40～				
さいたま新都心バスターミナル(10:00) 出発				
→ 八潮市道路陥没事故復旧工事 → 昼食(越谷市内) → 首都圏外郭放水路				
→ JR大宮駅周辺(17:40) 着後解散				
※前日以前～当日の天候により、見学可能範囲が制限されることもあります。予めご了承ください。				
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合があります。予めご了承ください。				

全建CPD制度(建設系CPD協議会加盟)：聴講1.5単位 / 現場研修1単位

聴講会場 さいたま共済会館(602)
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-14

現場研修事業の概要

1. 首都圏外郭放水路

…………… 埼玉県春日部市

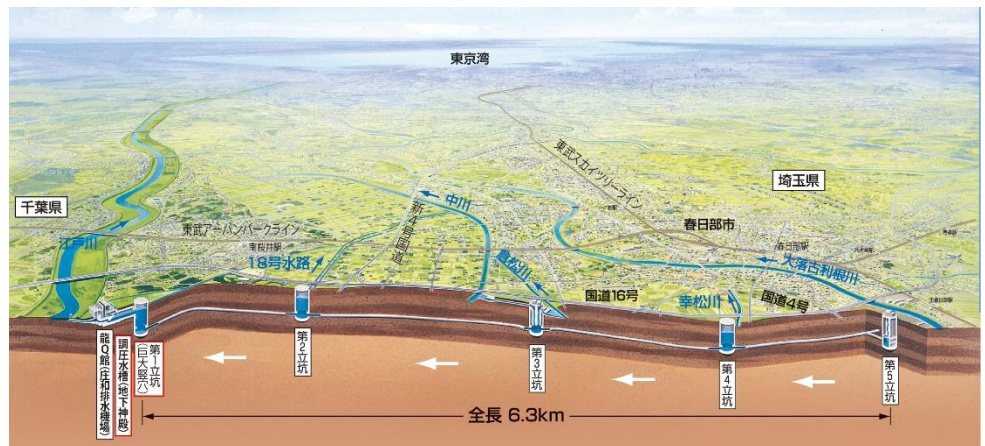
首都圏外郭放水路は、洪水被害を防止するために整備された世界最大級の地下放水路である。中川、倉松川、大落古利根川、18号水路、幸松川などの中小河川が増水した際、洪水の一部を施設内に貯留するとともに江戸川へ流すことで流域の浸水被害を軽減する役割を担っている。

中川・綾瀬川流域は、利根川、江戸川、荒川などの大河川に囲まれた低平地であり、水が溜まりやすい皿状の地形となっている。このため、古くから洪水被害を受けやすい地域であった。また、河川勾配が緩やかであることから水が海まで流れにくく、大雨時には水位が下がりにくいという特徴がある。さらに近年は都市化の進展により、雨水が地中に浸透しにくくなり、降雨時に雨水が一気に河川へ流入することで洪水が発生しやすくなっている。

首都圏外郭放水路の整備により、流域の浸水被害は大きく軽減され、浸水する家屋数や被害面積は大幅に減少した。長年洪水に悩まされてきた地域において、重要な治水施設として機能している。



また、本施設はインフラツーリズムの先進的な事例としても知られている。平成28年3月に国が策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」を契機として、江戸川河川事務所や春日部市などで構成される利活用協議会が設立された。平成30年8月からは、国の防災施設としては日本初



となる民間事業者による社会実験型の見学会が開始され、年間を通じた見学体制が整備された。

現在は年間10万人の見学者を目標として、新たな見学コースの設定や季節行事に合わせた特別ライトアップの実施など、官民連携による取組が進められている。

2. 八潮市道路陥没事故

…………… 埼玉県八潮市

1. 事故の概要

令和7年1月28日、埼玉県八潮市中央一丁目の県道松戸草加線の交差点において、中川流域下水道の下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没が発生し、走行中のトラックが転落する事故が起きた。

- 1) 日時：令和7年1月28日午前9時49分頃
- 2) 場所：主要地方道 松戸草加線（県道54号）中央一丁目交差点内（図1.1）
- 3) 陥没の規模：最初に生じた陥没穴は開口部で長さ約8m、幅約4m、深さ約5m



図1.1 事故の位置

2つ目の陥没穴は1月29日午前1時3分頃に発生し、長さ約11m、幅約7m、深さ約8m

1月30日午前2時37分頃には、これらの2つの陥没穴が一つに結合して長さ約30m、幅約20m、深さ約10mに拡大（図1.2）

4）事故の状況：1名乗車のトラック1台が転落



2. 道路陥没の要因

地下に空洞ができる原理については、土砂が重力作用によって下方に移動することで地下に空洞が発生することから、1つ目の陥没穴の深さ約5mより深い位置に吸い込み口がないと道路陥没は発生しない。したがって、以下の①及び②より、今回の道路陥没は、埼玉県が管理する中川流域下水道の硫化水素によって腐食した下水道管に起因するものと考えられる。

① 1つ目の陥没穴は、下水道管の直上で発生した。（図2.1）

② 陥没深さより深い地下埋設物は下水道管のみであり、かつ土砂を引き込む可能性のある他の要因（他の地下工事、坑道跡、自然生成の水みち）は確認できない。（図2.2）

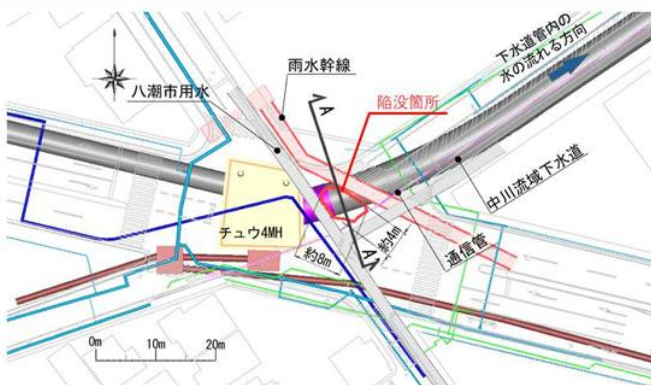


図2.1 陥没穴と地下埋設物との位置関係（平面図）

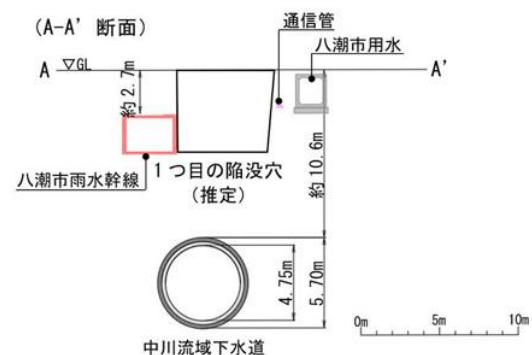


図2.2 1つ目の陥没穴と地下埋設物との位置関係（断面図）

3. 復旧の状況と今後の対応

事故発生後、県道松戸草加線は全面通行止めとなっていたが、令和8年4月、暫定2車線での供用が開始された。

また、今回の事故が発生した中川流域下水道の中央幹線の下流部は、口径が大きい、水量が多い、埋設深が深い、代替性がないといった課題があることから、抜本的な対策が必要なため、維持管理性やリダンダンシーの確保等も踏まえて、複線化の整備を行っていく方針が示されている。

令和8年度 実地研修会 八潮市道路陥没事故・首都圏外郭放水路（第2回） 募集について

1. 日程：

【聴講】 令和8年10月8日（木）（開場14:20～）14:50～16:30

さいたま共済会館（602）

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-14

（別紙「聴講会場及び現場研修集合場所案内図」参照）

【現場研修】 令和8年10月9日（金）

（第1班）

さいたま新都心バスターミナル（集合8:10・出発8:30）

→ 八潮市道路陥没事故復旧工事 → 昼食（越谷市内）

→ 首都圏外郭放水路 → JR大宮駅周辺（16:10）着後解散

（第2班）

さいたま新都心バスターミナル（集合9:40・出発10:00）

→ 八潮市道路陥没事故復旧工事 → 昼食（越谷市内）

→ 首都圏外郭放水路 → JR大宮駅周辺（17:40）着後解散

※第1班・第2班の選択はできません。

※前日以前～当日の天候により、見学可能範囲が制限されることもあります。予めご了承ください。

※首都圏外郭放水路の視察の際、他に有料見学会が組まれている場合には待ち時間の発生等、調整が生じる場合があります。予めご了承ください。

2. 募集人数：80名（大型バス2台）

3. 研修料：

一般（非会員）……………13,000円（税込）

正会員・特別会員・賛助会員……………11,000円（〃）

・一般／会員の確認を行いますので、申込み区分に誤りのないようご注意ください。

・研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。

・※2日目の昼食の費用は含まれておりません（各自負担・自由昼食となります）。

4. 申込み方法：

申込書に必要事項を記入し、メールにて西鉄旅行㈱へお申込みください。

・募集定員を超えた場合、（一社）全日本建設技術協会にて選考し結果を通知します。

・選考の通知は、**9月14日頃**を予定しています。

＜個人情報の取扱いについて＞

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

5. 申込み締切：令和8年9月10日（木）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 申込み先：西鉄旅行㈱ MAIL sbb_tyo@nnr-g.com

申込みのお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0325

7. 送金先：みずほ銀行 京橋支店（普通）1227472 ニシテツリョコウ（カ

研修料の振込みは、選考結果の通知後～原則 開催前日までにお願いします。

※振込手数料はご負担願います。

8. **変更・取消し**：申込みの変更又は取消しが生じた場合、申込用紙に変更箇所がわかるように記入し、メール件名に「変更」又は「取消」と明記し、6. の申込み先宛にメールで送付してください。なお、取消しの場合には、取消し日に応じて下記の取消料が発生します。
※電話での受付はできません。

取消し日	取消し料
10日前～8日前	研修料の20%
7日前～前々日	研修料の30%
前日	研修料の40%
当日	研修料の50%
無連絡不参加及び開始後	研修料の100%

- ・取消し等に伴う返金について
開催終了後に所属協会等の指定口座へ、取消し料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。
なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消しの場合は、取消し日に関わらず全額（振込手数料は本協会負担）をご返金いたします。

9. **随行員**：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行(株)添乗員

10. **その他**：

- ・ヘルメットの持参は不要です。
- ・汚れてもよい服装・歩きやすい靴でご参加ください（サンダル等不可）。
- ・約100段の階段を自力で昇降していただく箇所があります。
- ・視察資料は当日、参加証は終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮ください。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<https://www.zenken.com/>) もご覧ください。

11. **お問合せ先（内容別）**

- ① ・研修会の申込みについて
・研修料の請求書発行について
・研修会の内容等について
（一社）全日本建設技術協会（登録番号：T4010405000433）事業課 杉戸、黒崎
E-MAIL kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
- ② ・お申込内容の変更・取消について
E-MAIL sbb_tyo@nnr-g.com（全建・西鉄旅行共有メールアドレス）
- ③ ・研修料のお支払いについて
・宿泊斡旋について
西鉄旅行（株）東京団体支店（登録番号：T2290001009530）全建担当デスク
E-MAIL sbb_tyo@nnr-g.com TEL 03-6742-0325

【会場及び現場研修集合場所等 案内図】



宿泊斡旋のご案内

- ① 宿 泊 斡 旋：宿泊希望者にはさいたま市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
なお、宿泊代金につきましては、西鉄旅行（株）にお支払いください。
- ② 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入しお申し込み下さい。
選考にもれた場合、宿泊申込みは自動的にキャンセルになります。
- ③ 申 込 先：西鉄旅行（株）東京団体支店 Mail sbb_tyo@nnr-g.com
申込のお問合せ 全建担当デスク TEL 03-6742-0325
（営業時間 9:30～18:00 休業日 土日祝）
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。
- ④ 取消しについて：

宿泊日の8日前	宿泊日7日前～	宿泊日2日前	宿泊前日・当日 及び無連絡不泊
宿泊代金の10 %	宿泊代金の30%	宿泊代金の50%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

- ⑤ 斡旋する宿舎名、宿泊料
令和8年10月8日(木) (1泊無料朝食付、サービス料・消費税込み)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	斡旋人数	宿泊代金
東横 INN さいたま新都心 〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 4-262-1 TEL: 048-657-1045	シングル 禁煙	10名	9,500円

※申込締切後、参加者が決定次第、西鉄旅行（株）より「宿泊案内」が送付されます。
※定員を超えた場合は代替ホテルでのご案内になります。予めご了承ください。



令和8年度 実地研修会（八潮市道路陥没事故・首都圏外郭放水路）（第2回）
に参加の皆様へ

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



本協会が実施する建設技術講習会・実地研修会には、全国から多くの皆様にご参加いただいております。

本交流会は、参加者同士の交流や講師との意見交換を通じて、知見と人脈を広げ、今後の業務に活かしていただくことを目的として開催するものです。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和8年10月8日（木）17：30～19：00（予定）

場所：さいたま共済会館（予定）

会費：2,000円（聴講の受付時にお支払いください）

＜注意事項＞

- ・都合により中止または内容を変更する場合があります。
- ・参加人数により中止となる場合があります。
- ・講師の参加は追加・取消等の変更が生じる場合があります。
- ・開催時間は当日変更となる場合があります。
- ・参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入してください。
- ・参加者は名刺をご持参ください。
- ・服装は自由です。



1. 参加者同士の交流促進

- ・名刺交換による人脈形成
- ・意見交換・情報共有

2. 講師との交流・意見交換

- ・講師との懇談
- ・質疑応答

＜問合せ＞ （一社）全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com